

30105橋梁建設工事における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	16 ～ 17	現場内の所在の分からないゴミが通勤車両の後席に積み込まれていた。そのゴミの持ち帰りについて社員である被災者と加害者の意見が合わず口論となり、日々被災者が加害者の指示に従わなかったことが多くストレスが重なっていたこともあり、暴行を加え、左側顎関節を骨折させた。	32	6	911	1 ～ 9
2	2019	2	8 ～ 9	工事現場で、プレキャスト壁高欄の荷下ろし、架設作業を行っていたところ、プレキャスト壁高欄1本目を架設中に、2本目が倒れて、作業員の足が挟まれ、左足首頸骨および左足腓骨部を折った。	61	5	523	10 ～ 29
3	2019	2	11 ～ 12	高架橋橋脚付近にて、新設床版の梁張用PCケーブルを挿入するためクレーンでPCケーブルを揚重した。4本目のPCケーブルを挿入する際、吊り金具からPCケーブルが滑り落ち接触し、左肩を骨折した。	66	4	372	10 ～ 29
4	2019	3	11 ～ 12	立坑内で鋼管継手部の溶接作業の準備として、仮付けピースを付け替える作業をしていた。その際に仮付け溶接が外れ、吊っていた管のバランスが崩れて管が傾き、管の隙間に入れていた右手を挟み、右手薬指と小指を骨折した。	36	7	521	1 ～ 9
5	2019	3	16 ～ 17	橋りょう架け替え工事現場で作業終了後、ドラグショベル後部とダンプトラック側面に挟まれ死亡した。	33	7	142	1 ～ 9
6	2019	5	22 ～	主桁の降下架台を解体中、墜落制止用器具を使用せずに橋台上を移動した際、足を踏み外して8.8m下の地上に墜落し、右肋骨を折るなど	21	1	418	10 ～

			23	負傷した。				29
7	2019	5	9 ～ 10	橋梁建設現場にて鋼桁の吊り上げ作業の確認時、吊り上げと同時に横ずれを起こし、鋼桁に取り付けていた単管パイプと法面の間に挟まれ、左側肋骨、右肩を折った。	51	7	212	50 ～ 99
8	2019	5	14 ～ 15	被災者は、橋の橋台で、落橋防止ケーブルのブラケットピンを1人で設置していた。ブラケットピンを1人で持ち上げて差し込んだとき、ブラケットピンのボルト部と鋼材に左手小指を挟み負傷した。通常は4人で作業するところ、他の3人は3か所目のケーブル取り付け作業を行っていたため、被災者が1人で作業した。	26	7	521	10 ～ 29
9	2019	7	15 ～ 16	橋梁補修工事現場で、吊り足場組み立て作業中に、吊りチェーンが外れて、足場板とともに、13m下に落下し、頭部挫傷、右足股関節脱臼および一部骨折、足の甲にヒビが入った。	44	1	411	30 ～ 49
10	2019	7	10 ～ 11	高所作業車のデッキ内から床版上へ降りようとしたときに、扉を開け前向きにブーム上のステップに降りた後、扉を閉めるため体を180度右回りで回転させた際、転落し肋骨を折った。	51	1	146	10 ～ 29
11	2019	7	8 ～ 9	仮栈橋工施工中、荷台上のケーシングを吊り上げた際、ケーシングとオーガ本体が接触し、その弾みで荷台上の積み荷がバランスを崩し、ケーシングが外側に押し出されるよう移動し、ケーシングとトラックのアオリに右足が挟まり負傷した。	69	7	612	1 ～ 9
12	2019	8	10 ～ 11	ユニック車の荷台で、荷下ろす水タンクを玉掛け後、吊り上げた際に荷がぶれて接触し、荷台からバランスを崩して地面に激突した。その際、胸椎を骨折した。	61	6	212	10 ～ 29
13	2019	8	10 ～ 11	積み荷が崩れそうだったので、荷台に上がり積み荷を直そうとした際、バランスを崩し地上に飛び降りようとしたが、左足大腿部を引っ掛けて裂傷を負った。	41	1	221	30 ～ 49
14	2019	8	10 ～	機材の片付け作業中、サンドル材が雑に積んであったため、積み直していたところ、サンドル材が崩れて左手甲の上に落ち、骨折、挫傷を	41	5	521	30 ～

			11	負った。				49
15	2019	8	17 ～ 18	橋脚の埋め戻し作業中、クローラードンプを運転し後進時、山留材（H型鋼材）に気付かず走行し、運転席と山留材の間に胸部・頸部を挟み負傷した。その後、死亡した。	64	3	227	10 ～ 29
16	2019	9	15 ～ 16	梁配筋作業で、段取り筋の結束が外れたために設置済みのスターラックがドミノ倒しのように一気に倒壊し、倒れた鉄筋に右足を挟まれ負傷した。	24	5	521	10 ～ 29
17	2019	10	14 ～ 15	仮設道路を造成中、取り壊したコンクリート殻に付着している鉄筋をサンダーで切断中、反動で刃先に当たり、左親指の裂傷を負った。	25	8	153	30 ～ 49
18	2019	10	17 ～ 18	高架橋工事で、橋梁上部で鉄筋の配筋測定を行っていた。足場の悪い場所での作業であり、腰椎椎間板ヘルニアおよび左根性坐骨神経痛を発症した。	62	19	921	1 ～ 9
19	2019	11	14 ～ 15	高架橋で補修工事用の吊足場の解体作業中、足を支持するための吊り金具が外れ作業床の先端部が下に落ちた。そのとき、足場上にいた被災者が安全帯を掛け替える途中であったため、5～6m下の水路の砂地に落ち、腰の骨を折った。	27	1	411	10 ～ 29
20	2019	11	14 ～ 15	建設現場で、準備作業として河川内で除草作業をしていた。草刈り機を使用中に、地盤面の硬い物に接触し、その反動で回転刃が右足に接触して負傷した。その際、被災者は長靴を履いていた。	62	8	169	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。